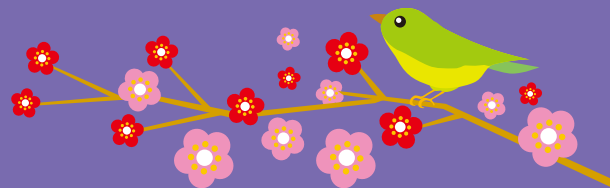


ひとよし 市議会だより

第99号

2019/ 平成31年2月1日 発行



新年を迎えた国宝青井阿蘇神社

主な内容

- ② 12月定例会報告
- ⑦ 市政の内容を問う
～一般質問に12名の議員が登壇～
スマートフォン等による動画視聴が可能になりました
- ⑪ 議案等の議決結果
- ⑫ 意見交換会・議員研修会を開催しました

編集 議会報編集委員会

発行 人吉市議会
人吉市下城本町1578番地1
☎ 0966-22-2111 (代)
E-mail gikai@hitoyoshi.kumamoto.jp

市のホームページでもご覧になれます
URL <https://www.city.hitoyoshi.lg.jp/>

12月定例会報告

平成30年12月第5回定例会は11月26日から12月18日までの23日間開催されました。

一般会計補正予算 3億3,059万1千円 増額可決 (補正後の総額は189億9,129万8千円)

一般会計補正予算の主なもの

川上哲治
生誕100年記念事業
実行委員会補助金

50万円



人吉市第三セクター
経営基盤強化資金
貸付金

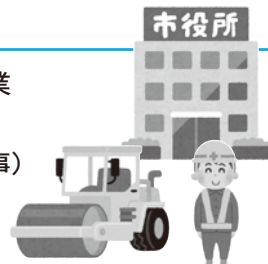
6,000万円



※詳細は5ページ経済建設委員会報告参照

道路新設改良事業
(西間地内
第9号線改築工事)

3,000万円



※詳細は6ページ市庁舎建設に関する特別委員会報告参照

人事案件

人権擁護委員に下記の方を推薦同意しました。

・祝 憲生 氏

・西 恵子 氏

・竹下 敏 氏

・吉村 和子 氏



平成29年度歳入歳出決算を認定

平成29年度決算を審査するために、平成30年9月定例会で決算特別委員会を設置し、継続審査となっていました。その後閉会中を含め4回にわたり慎重に審査を行いました。

11月26日の本会議において、委員長から審査の経過及び結果についての報告を行い、歳入歳出決算については賛成多数で認定されました。

同特別委員会では市に対し、4つの個別の指摘・要望事項とあわせて、今後の財政運営に当たっては、新市庁舎建設に多額の費用が必要となることを考慮し、引き続き行財政運営全般にわたる改革を推進するとともに、財政状況をより正確に把握・分析し、歳出全般にわたる徹底した見直しによる歳出総額の抑制と重点化を進め、効率的で持続可能な財政運営を行われるよう要望しました。

	歳入総額	歳出総額
一般会計	168億8,695万9,977円	165億4,029万3,249円
特別会計(水道・下水道を除く)	101億4,614万5,790円	95億7,992万830円
合計	270億3,310万5,767円	261億2,021万4,079円



平成29年度水道事業特別会計・公共下水道事業特別会計 利益の処分及び決算を可決及び認定

平成29年度水道事業特別会計・公共下水道事業特別会計の利益の処分及び決算を審査するために、平成30年9月定例会で厚生委員会に付託されて継続審査となっていました。その後閉会中に3回にわたり慎重に審査を行いました。

11月26日の本会議において、委員長から審査の経過及び結果についての報告を行い、利益の処分及び決算については、賛成多数で可決及び認定されました。

厚生委員会では、今後の水道事業の経営について、4つの個別の要望事項とあわせて、人吉市水道事業ビジョンに基づき、引き続き公営企業の原則である経済性と公共

の福祉増進にそって経営の効率化、健全財政及び収益性の向上の推進と、大規模災害を視野に入れた危機管理能力に優れた組織・体制づくりの構築に努め、将来にわたって低廉で清浄かつ豊富な水の安定供給ができるよう要望しました。

また、今後の公共下水道事業の経営については、3つの個別の要望事項とあわせて、公営企業の原則である独立採算性の趣旨のもと、自主財源の根幹をなす下水道使用料の適切な債権管理に努めるとともに、経営の効率化、健全財政に努められ、更なる市民サービスの向上を図られるよう要望しました。

総務文教委員会報告

●委員長 大塚 則男 ●副委員長 宮崎 保
●委員 平田 清吉・犬童 利夫・西 信八郎・本村 令斗

人吉市長等の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例を修正可決

人吉しごとサポートセンターの前センター長の解雇等により、センターの開所が遅れたことに対して、事業推進の責任者として責任の所在を明らかにするため、市長及び副市長の給料月額10分の1の額を1ヵ月減額(市長85,400円、副市長65,300円)するものです。

委員会の審査において、

- ・責任は取っていただきたいが、示されている内容では受け入れがたい。
- ・主要な施策であり、センター開所の遅れなどに対する責任の所在を明らかにする事で市民の皆様のご理解などもいただけると考える。
- ・効果的な成果に結びついていない支出もあり、市民に対する道義的責任の説明も必要と考える。市長、副市長の責任は重いものがある。

等の意見があがり、委員会として「10分の1減額の1ヵ月分」を「10分の1減額の3ヵ月分」とした修正案

を議会に提出し可決されました。

その他3件の条例改正及び1件の損害賠償案件を承認しました。

一般会計補正予算(第5号)及び(第6号)を承認 ○補正の主なもの

- ・地区公民館施設整備費補助金 60万円
永野町公民館及び上田代町公民館の施設整備に対する補助金です。
- ・小学校費(学校管理費) 725万8千円
西瀬小学校、人吉西小学校、人吉東小学校、中原小学校のエアコン修繕、消火栓始動装置及び防火シャッターなどの修繕等によるものです。
- ・中学校費(教育振興費) 1,031万5千円
生徒の出席管理や成績管理、通知表作成支援など、中学校の教員が使用する校務支援システムの導入費用等によるものです。
- ・災害復旧費 200万円
人吉西小学校の法面災害復旧工事に係る費用です。

行政視察

日 程：平成30年10月22日(月)～24日(水)

視察先：茨城県つくば市

項 目：つくば市の教育の取り組みについて

まとめ：つくば市の取り組みの1つとして、平成24年度から中学校区を基盤とした市内全小中学校における9年間の小中一貫教育を実施されています。その基本構想は、「9年間の教育を通して系統的な教育を行うこと」、「家庭・地域・研究機関等との連携」、「9年間を見通した弾力的・効果的な教育課程の編成」、「異年齢の生活集団、学習集団の弾力的な編成」の4つの柱から構成されています。

また、総合的な学習の時間を利用したつくば市独自の教育課程である「つくばスタイル科」は、総合的な学習の時間の目標を踏まえつつ、発信型プロジェクト学習と外国語活動から構成されており、つくばの未来を担い、国際社会で活躍するためのスキルを育てることや、他者と協力し問題をよりよく解決していこうとする態度を育てることを目標とされています。

中学校では、学業と進路に関する内容をつくばスタイル科におけるキャリア教育的内容と関連させて実施されていました。

今後、つくば市の教育、つくばスタイル科等の取り組みについて、本市においても活用出来ないか考えていきたいと思っています。

視察先：栃木県栃木市

項 目：あったか住まいるバンク事業の取り組みについて

まとめ：栃木市は、「住みたい田舎ベストランキング」若者世代部門で2年連続全国第1位で、その要因として都心まで1時間とアクセスが良好であること、教育機関が多いこと、医療体制の充実、住宅取得補助など、手厚い移住定住支援ができていました。また、まちなか定住促進住宅新築等補助制度、結婚新生活支援補助制度、多世代家族住宅新築等補助制度などの補助制度、さらに空き家バンク制度、移住体験施設などの取り組みと都心部において移住定住促進ツアーを実施されていました。

移住定住施策について、本市のほうでも今後の取り組みの中で十分反映できるものでした。

厚生委員会報告

●委員長 高瀬 堅一 ●副委員長 永山 芳宏
●委員 塩見 寿子・井上 光浩・三倉 美千子・田中 哲

「損害の賠償について」の4件を承認

損害賠償に関する案件のうち2件は、願成寺墓地敷地内の樹木の腐食化と台風24号の強風により倒木し、灯籠や外壁等を損壊させたことに伴うものです。この案件に関しては現地視察を行いました。委員から「伐採時期の対応を」との質疑とあわせて「これを教訓にして、定期的な点検が必要」との要望が出されました。

また、他の2件は、いずれも市の公用車接触事故に関し損害の賠償を行うものです。市役所第一別館の敷地内駐車場とコンビニエンスストア駐車場での事故です。委員からは「今回は生命には被害はないが、注意を各所管で申し送りをしてほしい」との要望が出されました。

「一般会計補正予算」の2件を承認

一般会計補正予算のうち1議案は、人事院の勧告に伴う人件費等の増額によるものです。

「特別会計補正予算」の9件を承認

特別会計補正予算9議案のうち5議案は、人事院の勧告に伴う人件費等の増額によるものです。

その他4議案の補正予算の内容は、人吉市国民健康保険事業特別会計補正予算が県支出金や一般会計繰入金で49万4,000円、人吉市介護保険特別会計補正予算が人事異動に伴う人件費等の増で73万8,000円がそれぞれ増額されています。人吉市水道事業特別会計補正予算は、共済組合負担金の改定等に伴う人件費等の増額によるものと井ノ口第二水源地自家用発電施設設備リース料の債務負担行為の限度額の変更で、収益的支出の営業費用が103万円増額されています。人吉市公共下水道事業特別会計補正予算は、共済組合負担金の改定に伴う人件費の補正で、収益的支出の営業費用が42万4,000円、資本的支出の建設改良費が22万8,000円増額されています。

いずれの議案も慎重審査の結果、承認することに決しました。

行政視察

日 程：平成30年11月7日(水)～9日(金)

視察先：島根県出雲市

項 目：新エネルギー等環境施策・地球温暖化対策・ごみ減量3Rの推進について

内 容： 新エネルギー政策は出雲市にとって重要な政策の一つで、未来に向けた目標とする「出雲の国づくり計画」の基本構想に掲げてあります。行政の姿勢は常に市民目線に立ち、さまざまに調査研究が行われ、中でも風力、太陽光、バイオマスに力を注いでおられます。地球温暖化対策等ごみ減量3Rの推進では、平成25年度から「出雲エコナビ」という専用のホームページを開設し、家庭や事業所等で実践可能な省エネの取り組み等の紹介や環境関連団体の活動を発信し、地域の省エネを推進されています。

まとめ： いずれの施策においても市民の意識調査などを行い、全て官民一体となって取り組む行政の姿勢に感銘を受けました。中でも将来を見据えた行政のあり方は、参考にすべき点が多々ありました。本市においても市民の方々の意見を聴取し、執行部、議会一体となって直近する問題として捉え、真摯に取り組む必要性を痛感いたしました。

視察先：鳥取県米子市

項 目：配水池設置事業について

内 容： 米子市の水道水は大山系の地下水を使用し、浄水施設を保有していないという点では本市と同じ形態です。水道局発足当初から近隣町村との合併による給水区域の拡大や人口増加に伴う水需要に対応するため、随時拡張事業を行ってきました。かつては2つの水源地から直送方式で配水していましたが、平成19年度に策定した基本計画から9年の歳月をかけ、新たに2カ所の配水池が高台に建設されました。高低差を利用した自然流下方式で広範囲の供給が可能となり、大いに市民サービスにつながったとの説明がありました。

まとめ： 配水池の一つである中央配水池は、ステンレス製としては日本で最大級の容量を誇っています。また、阪神・淡路大震災や、鳥取県西部地震等2度の大災害の経験により、米子市の配水池は強固にして安全で安心な災害対策を兼ね備えた重要な役割を担っています。本市も配水池の築造を控えていることから、地震対策等を十分配慮した配水池建設が必要との認識を痛感しました。



米子市中央配水池

経済建設委員会報告

●委員長 笹山 欣悟 ●副委員長 豊永 貞夫
●委員 宮原 将志・福屋 法晴・村上 恵一・仲村 勝治

くま川下り株式会社への貸付金6,000万円・人吉市第三セクター経営基盤強化資金貸付条例の一部改正を承認

くま川下り株式会社に第三セクター経営基盤強化資金の追加の貸付を行うため、条例の一部を改正するもので、貸付金の上限を現行3,500万円から、1億円とし、貸付の条件を現行「無利子」から、「年5%以内で市長が定める率」とするものです。

委員からのさまざまな質疑に対し、執行部から、「昨年は新事業再生計画を策定して本年度計画1年目で改革を進めていくところであったが思うに任せず、今回社長が辞意を表明するに至ったことは反省をしている。今回業務提携の話をいただいたので、この機をとらえてこれが最後のチャンスと思い、くま川下りの事業再生に全力を挙げていく」といった答弁がっております。

また、委員からの意見として、

- ・今回6,000万円の貸付は、悪循環を断ち切るということで致し方ない。今後経営が悪くなりさらに個人保証をつけるような負債を抱えないよう指導していただきたい。
- ・議会の決定は重い。我々も責任を問われる。将来に禍根を残さないようしっかり判断したい。

- ・市民の方たちも乗船するような仕組みを考えながら協力していかなければならないと考える。といった意見があり、委員会として誠意を持って取り組むよう要望しております。

人吉市景観条例を制定

景観法第98条第1項の規定に基づき、景観行政事務を処理するにあたり必要な事項を定めるため、条例が制定されました。

今後、県知事との協議を行い、その後景観行政団体に移行することになります。移行していく中で、景観計画案について公聴会やパブリックコメントを行い、景観審議会に諮問し、審議会の答申を受けて景観計画の告示することになります。

委員から「市民のほとんどの方は計画や条例のことを知らないと思うので、丁寧な説明、周知をお願いしたい」という意見があり、委員会として、説明会については十分な配慮をするよう要望しております。

梢山工業団地の土地を処分

梢山工業団地H区画の土地(面積6,094.36平方メートル)を、処分価格3,961万3,340円で、森松工業株式会社に売り払うことを承認しました。

行政視察

日 程：平成30年10月16日(火)～18日(木)

視察先：和歌山県白浜町

項 目：サテライトオフィスの誘致について

内 容： 白浜町では、閉鎖された民間の保養所を整備し直してIT関連企業を誘致する取り組みを、平成16年から行われています。現在第一オフィス、第二オフィスあわせて10社が入居しており、合計で約50名が勤務されています。その内の27名が地元雇用とのことでした。また入居しているIT企業がサテライトオフィスの場所として白浜町を選んだ理由は、「東京からのアクセスの良さ、災害時のバックアップネットワークがある、地元の熱意」との説明がありました。

地元とのつながりという点では、IT企業が地元の小中学校でプログラミング教育に協力されており、子供たちにも好評であるとのことでした。

まとめ： サテライトオフィスの誘致に際しては、誘致するIT企業と地元とのつながりが大事であると感じました。また、企業に対しては人吉市ならではの特色をPRする必要性があると感じました。

視察先：兵庫県篠山市

項 目：景観を活かしたまちづくりについて

内 容： 篠山市では、伝統的建造物群保存地区が2地区あり、今回そのうちの1地区を訪問しました。この地区は篠山城を中心とし、武家屋敷群、商家町が含まれた約40ヘクタールの地区です。地区内では、厳しい規制がかけられますが、建物保存修理に補助があり、年間で2地区あわせて10件程度の修理をされています。

また、建築士がメンバーとなっているNPOが古民家再生ボランティア活動をされており、古民家の改修等をワークショップ形式でされるなど活発な活動をされています。

まとめ： 本市は篠山市のように古い建物が残っていませんが、近代的建物の前を覆って古民家風に仕上げる手法も考えられるのではないかと感じました。また、町並みを保存するためには、地元の方の協力・理解が必要なので、これから景観計画の議論も進んでいく中で、市民の皆さんの意見を取り入れていただきたいと思います。



サテライトオフィス(白浜町)

市庁舎建設に関する特別委員会報告

●委員長 永山 芳宏 ●副委員長 高瀬 堅一

●委員 塩見 寿子・犬童 利夫・西 信八郎・笹山 欣悟・村上 恵一・三倉 美千子・仲村 勝治

第30回目を11月27日に開催

市道西間地内第9号線の整備計画を説明

市道西間地内第9号線の整備計画については、周辺道路2路線（青井西間線、西間地内第9号線）の整備を平成32年度に実施する計画でしたが、最終年度に2路線の道路整備を同時に行うと、建築本体工事、電気設備工事、機械設備工事等の追い込み時期に重なり、多くの工事車両の往来、車両の制限等をするようになります。安全性や利便性の面でも周辺住民の方々や来庁者の方に迷惑がかからないようにするため、用地買収も伴わないことから工事を前倒しする計画です。道路整備期間は平成30年度末から平成31年度夏ごろとし、整備内容は起点が市道西間寺町線、終点が社会福祉協議会までの190mで、歩道部分のみを先行して整備します。車道部分については工事車両による舗装の劣化防止のため、平成32年度に施行する予定としています。工事費3,000万円は12月補正予算に計上されていると説明がありました。

西間別館改修計画案(事業費・エレベーター設置)を承認決定

西間別館改修計画案の概要は、1階を保健センター、2階を教育部として整備するものです。エレベーターの設置については、通常時は高齢者や乳幼児、妊婦、ベビーカー使用者が利用者として見込まれ、災害時は大規模災害時から避難勧告・避難準備・自主避難時の運用に対応することとしています。事業費として、外壁工事に4,250万円、エレベーターの設置に3,850万円が見込まれています。西間別館改修計画案については、エレベーターの設置も含めて承認決定いたしました。

新市庁舎等^{じゅうき}什器整備策定業務に係る経費を承認決定

什器整備の財源に関しては、国等からの助成もなく市の単独費が充てられる可能性が高く、財政的な制約も課せられるため、既存什器等の使用も前提に計画策定を行う必要があります。既存什器の現況調査を専門業者に委託するための費用520万円を債務負担行為の補正とあわせて承認決定いたしました。

治水・防災に関する特別委員会報告

●委員長 福屋 法晴 ●副委員長 宮崎 保

●委員 宮原 将志・大塚 則男・平田 清吉・井上 光浩・豊永 貞夫・本村 令斗・田中 哲

第17回治水・防災に関する特別委員会を、平成30年11月27日(火)、午後1時30分から開催いたしました。審議した事項は、11月12日に、熊本地震後の復興・復旧状況等を調査するため実施しました、南阿蘇村及び宇土市河川の視察について各委員・執行部からの意見集約を行いました。

まず南阿蘇村の視察について委員から、「熊本地震の脅威を改めて知らされ、大規模な災害のときには、国が動かないと改修が難しい」、「過去の災害の歴史を学校教育に生かしてほしい」、「今後予算が少ない中におけるインフラ整備が大切であるのではないか」、「大規模災害が起きたとき、一つだけの道路ではなく、緊急活動が出来る代替道路が必要であると感じた。人吉市においても大規模災害時には、緊急道路や生活道路の確保を優先して整備しなければならないと認識し、危険箇所については、今後十分に調査を行い改修していかなければならない」、「市民の方に災害発生前に危険を理解し避難していただくことが重要」等の意見がありました。

次に宇土市河川^{こうやいた}における視察では、軟弱地盤においては、半永久的に使える鋼矢板が有効であるとの説明がありました。今後、球磨川河川工事に、どの方法が一

番的確に対応できるのか、調査研究が必要であるのではないかと意見が出されました。

また、今後の治水・防災に関する特別委員会において、「治水」「防災」だけでなく、山を守るという部分を含めた「治山」にも対応できるような協議を行ってほしいなど、多くの意見が出され、今後、検討を行うことを確認し終了いたしました。



緑川(宇土市)における視察状況

市長自ら国に

国保税引き下げ要望を



本村 令斗



動画視聴

問

全国各地で、高すぎる国民健康保険税に悲鳴が上がっている。国保加入者の一人当たり平均保険料は、中小企業の労働者が加入する協会けんぽの1.3倍、大企業の労働者が加入する組合健保の1.7倍という水準。全国知事会、市長会、町村会などは、国庫負担の増額を政府に要望し続け、2014年には知事会が、「公費を1兆円投入して、協会けんぽ並みの負担率にすること」を政府与党に求めた。市長自らが1兆円の国庫負担増を国に要望すべきではないか。

答

責任運営主体が県となり、一自治体が単独で国に声を上げる性質のものではないと思う。全国知事会や市長会などをとらえ、要望を行っていききたい。

くま川下り(株)への貸し付けと償還について



大塚 則男



動画視聴

問

今回の6千万円貸し付けの目的は何か。

答

メインバンクからの借り入れ4本うち2本分の合計約5500万円の一括償還分と各種延滞金の返済資金や新造船に係る費用の手付け金等の運転資金として、500万円を加算し6千万円を貸し付けるもの。

問

3500万円の貸し付けも含め償還についての考えは。

答

3500万円は、平成31年度から平成45年度までの15年間で元金償還のみで年額233万円。6千万円貸し付けについては、5年間据え置き有利子の予定。平成36年度から平成50年度までの15年間償還。元金償還分は年額400万円の予定。

通学路の防犯対策について



笹山 欣悟



動画視聴

問

市民から「道路が暗くて不安」「道路の横断歩道や路側帯の線が消えていて危ない」などの声を聞くが、現状を認識しているか。

答

毎年、町内会から防犯灯の設置や横断歩道、道路の白線等の敷設の要望をいただいております。各校区の市政懇談会でも伺っているところである。

問

集落と集落の間などの暗い箇所は、町内会負担ではなく市が責任をもって設置・管理していく時期に来ているのではないか。

答

将来を担う子ども達が、安全安心に登校できる環境整備は本市の重要な施策と認識している。今後、市直営の照明設置に向け関係機関による協議を進め、実施に向け前向きに検討したい。





本市の予防接種と

認知症対策について



豊永 貞夫



動画視聴

問

全国的な流行の兆しが見られる風疹の予防接種に対して、抗体検査の無料実施をするとの報道があるが本市の対応は。また、5年間の経過措置とした高齢者肺炎球菌ワクチン接種も今年度で終了し、来年度から65歳限定での実施となる。本市の接種状況と未接種の方への対応は。

答

肺炎球菌ワクチン接種率は52・4%で県内2位の接種率だった。今後の対応については、風疹、肺炎球菌の両方とも国の動向を見据えて検討していく。

問

認知症行方不明者の捜索には携帯GPSの活用が決め手になると考えるが本市の現状と対策は。

答

本市利用者は1名で、今年度新機種に変更したため、利用促進の周知を行っていく。

高齢者健康支援と

認知症予防対策 他



福屋 法晴



動画視聴

問

高齢者健康指導に関し講習会の開催は行っているのか。

答

デイサロンや湯るりんサロン、男の生き方塾など、健康に関し正しい運動講座を行っている。また、介護予防効果がある人吉ころばん体操の普及啓発に今後取り組んでいきたい。

問

認知症予防に効果があると言われる健康麻雀について、人吉市の考えは。

答

事業内容検討の際に、協議を行い、関係機関に情報提供を行っていききたい。

問

小中学校に設置してある太陽光発電設備の目的と売電価格についてはどうか。

答

低炭素・循環型社会に向けて自然エネルギーに関する意識の高揚。価格は、固定単価である。

生ごみの減量対策について



宮崎 保



動画視聴

問

ごみ減量の啓発活動と、処理機などの再度補助申請は可能か。

答

食品のロスを減らす3010や、食べ切る、使い切る、水を切るの3切るの啓発活動がある。処理機など、再度の補助申請は、前回の交付決定の日から5年経過していれば可能である。

問

ごみ集積場の新設と、道出しの集積場設置は可能か。

答

集積場の設置基準を満たせば可能である。原則10戸以上で使用するなどの基準があり、ごみ集積所設置届の提出が必要。

問

デイスポージャーに対応できる管路などの施設更新は。

答

高齢者介護において粉碎した紙おむつの下水道への受け入れを国で検討している。これらも踏まえ計画的に行う必要がある。

農業後継者対策、教員増、

防犯灯について



塩見 寿子



動画視聴

問 農業次世代人材投資事業に該当しない就農者を独自に支援する制度をつくる考えはないか。

答 市は財政的に厳しいので、国や県の事業の情報を提供するのでそれを有効に活用してほしい。

問 小学校に英語の専科教員を配置することはできないか。

答 必要に応じて県に要望したい。人吉市は独自に英語教育技術指導者を配置して対応している。

問 防犯灯を取りつける際、電柱がない所に電柱を設置するのは全額町内会負担となっているのは、納得がいかない。電柱設置費用の補助ができないか。

答 これまでも町内会長から電柱設置補助の要望は出ている。防犯灯の設置は必要なことであり、電柱費用の補助を検討したい。

くま川下りの経営不振に

対する行政の責任は



宮原 将志



動画視聴

問 現在のくま川下り(株)の経営不振については、設立当初からくま川下りに関わってきた人吉市にも責任があると思うが、どのように責任を感じているのか。

答 現在の負債規模に着目すると、個人保証が必要となる程度まで負債が大きくなり、代表取締役等の人選に苦慮する現在の悪循環を断ち切り道筋をつけることは、長年にわたりくま川下りに携わってきた行政の責任だと認識している。今回、大規模な業務提携の話があるが、この機をさまざまな懸案事項をクリアすべく抜本的改革を含む経営健全化の好機ととらえ、筆頭株主としての責務を果たしていきたい。

※その他、ひとよし産業祭、ハッカソンについても質問しました。

家庭と教育と福祉の

連携について



西 信八郎



動画視聴

問 学校・教育委員会・福祉・関係機関との連携は構築されているのか。

答 市内小・中学校、球磨支援学校、高等学校をはじめ、市福祉事務所、保健センター、保育園連盟、地域療育センター、障害児通所支援事業所の職員で構成する特別支援連携協議会を設置し、特別な支援を必要とする幼児・児童・生徒に対する支援体制の整備を図り、年数回の会議や専門の医師による研修会を開催し、学校、教育委員会、福祉、関係機関と連携し、困り感を抱える子ども達や保護者への支援体制を整えている。

※その他、農業政策、乳幼児と防災、色覚チェック、ワークルル教育についても質問しました。





住宅宿泊事業の施行と

認知症対策について



犬童 利夫



動画視聴

問 春風マラソンなど大きなイベントで宿泊施設が不足と聞くが、住宅宿泊事業を活用できないか。

答 人吉の魅力を高めて宿泊客をふやし、民泊で稼げるようになれば登録者もふえる。どうすれば人吉に泊まってもらえるか引き続き取り組みたい。

問 認知症対策事業としての認知症の方々の居場所づくりは。

答 認知症の方々や家族、地域住民、介護専門職などさまざまな方が集うDカフェが九ちゃんクラブに開設され活動されている。

問 学校の空き教室を活用した認知症カフェは実施できないか。

答 学校で福祉をテーマに学習を実施している。認知症の方々と児童生徒が触れ合う場は大変意義深い。関係者と協議したい。

ICTを活用した職員研修を



仲村 勝治



動画視聴

問 2030年には、3人に1人が65才以上の高齢者の時代がくる。限りある財源をどう生かすか、どの事業を中止するかは重要なこと。SIM2030を職員研修に活用すべきではないか。

答 今後、職員に求められる資質の一つに「答を探す」時代から「答をつくり出す」時代へと変化させる必要性を感じている。SIM2030を職員研修に活用し、広く周知していきたい。

問 「MY CITY FORECAST」このシステムは日本全国を網の目にして将来の日本の人口分布を表示するものである。職員研修に活用は。

答 住民が暮らす将来環境の予測を500メートルメッシュで可視化したもの。活用を検討する。

新市庁舎建設及び西間別館

改修工事について



平田 清吉



動画視聴

問 新市庁舎供用開始時には、さらなる人口減少が考えられ、市税収の減少が予想されるが、職員用駐車場の有料化の考えは。

答 周辺用地の購入や借地により駐車場を整備していくには、新たな費用が生じるため、有料化の導入について検討することとは必要と考える。他の自治体や市内の民間事業所等の実態も調査し、検討を進めたい。

問 西間別館改修工事では、エレベーターの設置計画があるが、建築基準法における設置基準は。

答 高さ31メートル超の建物には、消火・救助活動等の非常用として、エレベーターの設置が義務付けられているが、非常用でないエレベーターの設置基準等の規定はない。

… 平成30年12月定例会の議案等の議決結果 …

番 号	件 名	議決結果	番 号	件 名	議決結果
議第67号	平成29年度 人吉市水道事業特別会計利益の処分及び決算の認定について	原案可決及び認定	議第90号	損害の賠償について	原案可決
議第68号	平成29年度 人吉市公共下水道事業特別会計利益の処分及び決算の認定について	原案可決及び認定	諮第1号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	推薦同意
議第74号	平成29年度 人吉市歳入歳出決算認定について	原案認定	諮第2号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	推薦同意
議第75号	平成30年度 人吉市一般会計補正予算(第5号)	原案可決	諮第3号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	推薦同意
議第76号	平成30年度 人吉市国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)	原案可決	諮第4号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	推薦同意
議第77号	平成30年度 人吉市介護保険特別会計補正予算(第2号)	原案可決	議第91号	人吉市長等の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例の制定について	修正可決
議第78号	平成30年度 人吉市水道事業特別会計補正予算(第2号)	原案可決	議第92号	平成30年度 人吉市一般会計補正予算(第6号)	原案可決
議第79号	平成30年度 人吉市公共下水道事業特別会計補正予算(第2号)	原案可決	議第93号	平成30年度 人吉市国民健康保険事業特別会計補正予算(第3号)	原案可決
議第80号	平成30年度 人吉市工業用地造成事業特別会計補正予算(第2号)	原案可決	議第94号	平成30年度 人吉市介護保険特別会計補正予算(第3号)	原案可決
議第81号	人吉市第三セクター経営基盤強化資金貸付条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	議第95号	平成30年度 人吉市介護サービス事業特別会計補正予算(第2号)	原案可決
議第82号	人吉市景観条例の制定について	原案可決	議第96号	平成30年度 人吉市水道事業特別会計補正予算(第3号)	原案可決
議第83号	人吉市景観計画等策定審議会条例を廃止する条例の制定について	原案可決	議第97号	平成30年度 人吉市公共下水道事業特別会計補正予算(第3号)	原案可決
議第84号	土地の処分について	原案可決	議第98号	人吉市長等の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議第85号	損害の賠償について	原案可決	議第99号	人吉市議会の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議第86号	損害の賠償について	原案可決	議第100号	人吉市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議第87号	損害の賠償について	原案可決			
議第88号	損害の賠償について	原案可決			
議第89号	損害の賠償について	原案可決			

… 平成30年12月定例会の請願・陳情等の議決結果 …

付託委員会	件 名	議決結果
経済建設委員会	農道整備(拡幅・舗装)に関する陳情書	継続審査
経済建設委員会	最低賃金の大幅引き上げと全国一律制度および、開かれた最低賃金審議会のあり方を求める陳情	継続審査
総務文教委員会	大畑駅の給水塔を国鉄時代の史料館として使用するための許可を求める陳情書	継続審査

議員別表決 …「表決が割れた」議案とその議員別表決…

賛否が分かれたもののみを掲載しております。

議案 番号	議員氏名 議案	塩見	宮原	高瀬	大塚	宮崎	平田	犬童	井上	豊永	西	本村	笹山	福屋	村上	永山	三倉美千子	仲村	田中
		寿子	将志	堅一	則男	保	清吉	利夫	光浩	貞夫	信八郎	令斗	欣悟	法晴	恵一	芳宏		勝治	哲
議第67号	平成29年度 人吉市水道事業特別会計利益の処分及び決算の認定について	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	
議第68号	平成29年度 人吉市公共下水道事業特別会計利益の処分及び決算の認定について	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	
議第74号	平成29年度 人吉市歳入歳出決算認定について	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	
議第91号	人吉市長等の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例の制定について(修正案)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	

(11) ○：議案に対して賛成 ●：議案に対して反対 ／：議長は表決に加わりません

人吉市民生委員児童委員協議会の皆様との意見交換会を行いました

平成30年11月22日に人吉市総合福祉センターにおいて、厚生委員会が人吉市民生委員児童委員協議会の皆様と、「民生委員の担当地区割りについて、見守りについての個人情報の扱いについて」をテーマに意見交換会を行いました。

まず、担当地区割りについては、改選のたびに欠員があること、1人で470世帯を持っているケースもあり過重負担になっていること、遠隔地では所帯数が少ないが、広くて回るのに時間がかかる悩みがあること、小さい町は合区をしなければならないかもなどの課題が出されました。

また、見守りと個人情報の扱いについては、一人暮らしの親を子どもが引き取って転居・転出されたことが知らされなかった、病院に入院した人の見舞いに行っても個人情報だからと教えてもらえなかった、空き家の調査をしてもその数を報告してもらえない、こちらからはいろいろな情報を出しても必要な情報が民生委員に開示されないなどの事例報告も出されました。

また、「25軒の町内で6軒が空き家になった。草が茂り危険」「避難訓練に参加した人に訓練の反省（良かったことや教訓）を教えてほしい。訓練の内容が毎年違うと、反省が生かされないのではないか」「介護サポーター研修を受けるよう働きかけている。一人ひとりがその気にならないと健康は守れないと思う」「子ども食堂を始めた」「一人暮らしの世帯が増えている。孤独死をなくしたい」「3期務めて相談が来るようになった。

誰に相談をしたらいいか迷っている人に、民生委員はそのためにいるとわかってほしい」など、民生委員が

日ごろの活動で感じることや行政への要望も出されたところでした。

厚生委員からは、民生委員の活動は多岐にわたるので、民生委員の仕事は何か一度整理する必要があるのではないか、過重負担になりがちであるが、それが後継者の出ない原因の一つであるのではとの意見が出されました。また、空き家等の情報は行政側の情報開示が必要では、情報は共有すべきであると意見も出されました。なお、議員も民生委員と同じように市民の方から相談を受けることが多い。最後の最後までやらないと解決には至らない。一緒にやっていきましょうとの発言もありました。

最後に「民生委員さんが活動しやすくするために？」との委員からの質問に対して、「『大変な』とねぎらってもらっただけでも元気になる」「自分は先輩から育ててもらった」などの体験が話されました。



意見交換会の様子

議員研修会を開催しました

平成30年11月21日に市役所仮本庁舎議員控室におきまして、熊本県市町村課長 まみや まさひろ 間宮将大氏を講師にお迎えし、「地方議会の現状と課題について」と題し研修会を開催しました。

地方議会の役割、課題、先進地の取り組みなどについてご講義いただき、議会へ関心を持ってもらうための方策についての具体的な事例も多数ご紹介いただきました。研修の成果を生かして、本市議会も、市民の皆様にはわかりやすい議会を目指してまいります。



講師の間宮将大市町村課長

編集後記

松の内も過ぎ、いかがお過ごしでしょうか。昨年は、地震、豪雨、台風等の自然災害が多い年でありました。今年は、新天皇の即位に伴い、新しい元号に改元されます。また、7月には参議院議員選挙も実施されます。人吉市では新市庁舎の建設、4年に一度の統一地方選挙がございます。県議会議員選挙に続き、市長、市議会議員選挙が目前に迫り、毎日が飛ぶような忙しい日々が続いています。市議会議員も皆様とともに健康で明るい人吉市を目指してまいります。今年もお互いに頑張りましょう。

（写真・文責…
仲村 勝治）



次の定例会は
3月の予定です

【議会報編集委員会】 委員長／田中 哲 副委員長／仲村 勝治
委員／高瀬 堅一・大塚 則男・豊永 貞夫・本村 令斗・笹山 欣悟・永山 芳宏